

感染症ニュース！

令和7年12月号

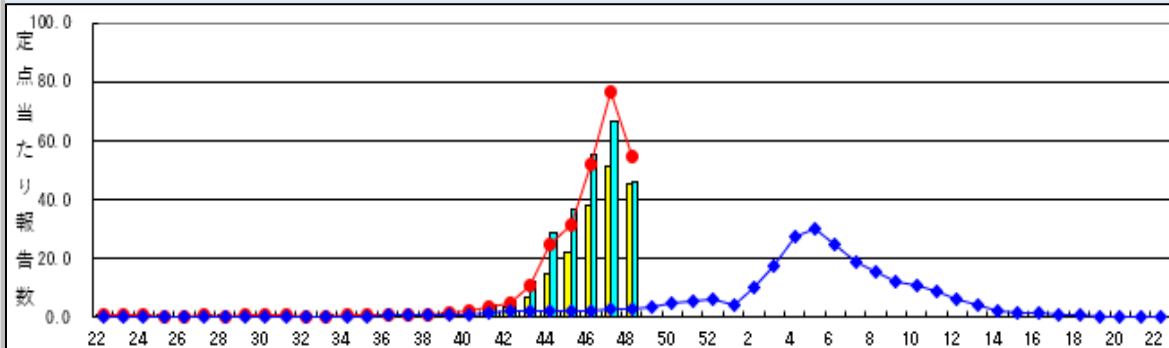
前月の神奈川県内の発生動向および国内外で気になる感染症を掲載しております。

★ 11月の注目感染症

■ 全国 ■ 神奈川県 ● 県域 ◆ 県域過去平均

① インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く）

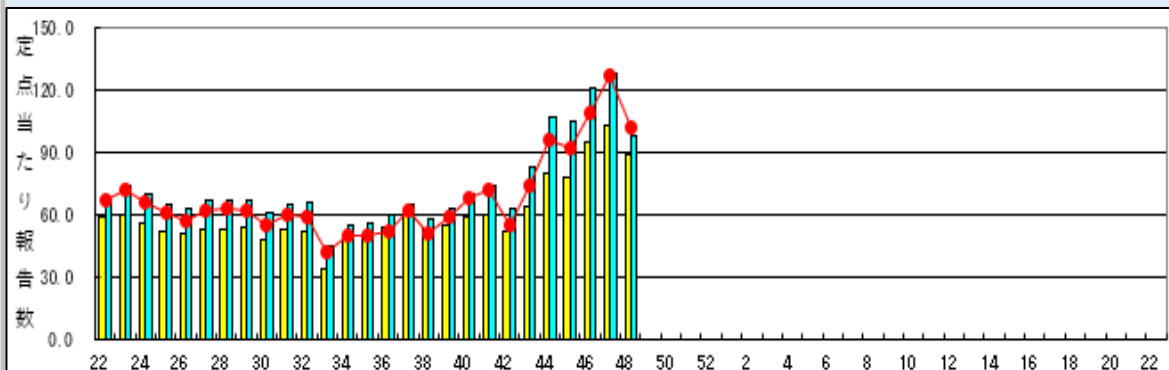
* 県域とは、神奈川県内の市町村のうち横浜市、川崎市、相模原市を除いた地域です。



11月は、10～14歳を中心に報告がありました。特に定点当たり報告数が多い地域は、
①厚木保健福祉事務所管内
②茅ヶ崎市
③平塚保健福祉事務所秦野センター管内でした。

週

② 急性呼吸器感染症

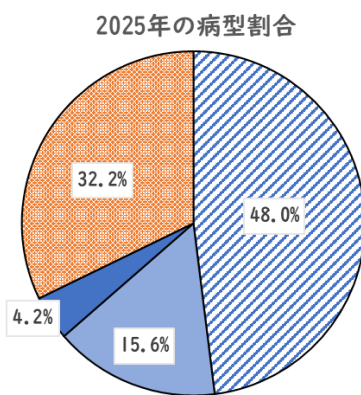
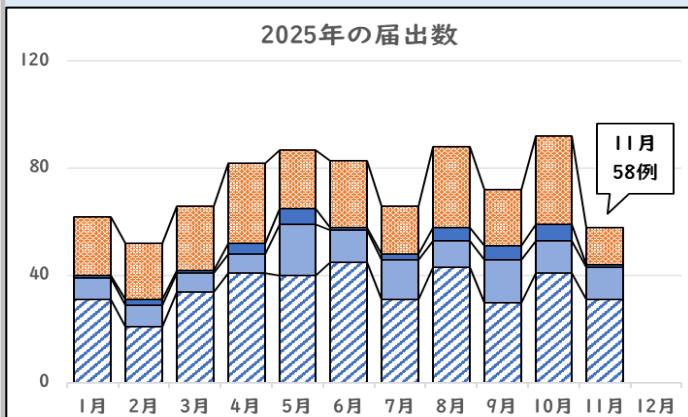


11月は、5～9歳を中心に報告がありました。特に定点当たり報告数が多い地域は、
①厚木保健福祉事務所大和センター管内
②厚木保健福祉事務所管内
③平塚保健福祉事務所秦野センター管内でした。

週

★ 結核の発生動向（12月1日時点）

■ 肺結核 ■ 肺外結核 ■ 肺結核+肺外結核 ■ 無症状病原体保有者



11月の届出数は58例でした。
2025年の累計患者数は810例となりました。
(疑似症患者2例を除きます。)



衛生博士

★ 国内・海外で気になる感染症をご紹介します

・エチオピア保健省は11月14日、**マールブルグ病**の患者を確認したとWHOに報告した。確定例は6例（死亡者は3例）で報告されているが、接触者は計206人確認されており現在も積極的疫学調査が行われている。当該疾患によるアウトブレイクは、同国内では初めてとしている。

（出典：WHO <https://www.who.int/> 令和7年11月25日アクセス）

・WHOは**淋菌感染症**の薬剤耐性率が高まっていると警告している。薬剤耐性淋菌感染症の蔓延を監視する強化サーベイランス・プログラム（EGASP）によると、2022～2024年にかけて、主要な抗菌薬であるセフトリアキソンとセフィキシムへの耐性はそれぞれ0.8%から5%、1.7%から11%へと増加したと報告している。特に、カンボジアとベトナムでは高い耐性率が報告されている。

（出典：WHO <https://www.who.int/> 令和7年11月25日アクセス）

神奈川県衛生研究所 感染症情報センター が作成しました。

お問合せはこちらまで↓↓

TEL:0467-83-4400(代表) FAX:0467-89-5211(企画情報部)



感染症情報センターHP

衛生

ちゃん

